

市のコンセプト・方針：「泉大津ヘルシーパーク」～テーマは、自分の身体を「整える」～

新しい公園のコンセプト

自然を感じられる空間の質と、健康をテーマにしたアクティビティの多様さで、「ここにしかない」公園をみんなでつくる。

新しい公園で大切にしたいこと ▶ 方針

- ・様々な人が遊ぶ、楽しむ、交わる
 - ・ここでの活動がまち全体に広がる
 - ・市民とのかかわりで成長し続ける公園
 - ・質の高い維持管理
- ・様々なアクティビティを誘導できるシンプルな芝生空間
 - ・多様なシーンを可能とする空間構成とその柔軟な運用
 - ・臨海部・小松緑道の活用、他の公園との連携
 - ・市・民間事業者・市民の協働

新しい公園でできること

- 自然と遊ぶ、自然に学ぶ、四季を楽しむ
 - ・芝生空間を走り回り、森で自然と触れ合える、木々に囲まれて癒される
 - ・芝生の上でピクニックをする、自然の中を散策する
 - ・花壇やハーブ園を眺める、農園で野菜を育てる、食について学ぶ
 - 健康がテーマの様々なアクティビティを体験できる
 - ・ジョギング、ウォーキングを楽しめる、フットサルができる
 - ・アーバンスポーツ（スケボー、BMXなど）を体験・練習できる
 - 子供も大人も安心して遊べる、過ごせる
 - ・自然の中を裸足で遊ぶ、ここにしかない遊具で楽しむ、BBQができる
 - ・ボール遊びができる、木や花などの自然について学ぶプログラムを受けられる
 - イベントやお祭りの拠点になる
 - ・盆踊り、ミニコンサートを開催できる
- 他にもこんなことができるといい・・・
- ・ステージで文化的な活動ができる
 - ・ツーリングやセグウェイの拠点にできる
 - ・雨の日にも人が集まる、遊べる、運動できる
 - ・ペットと走り回り、遊べる
 - ・子供用の乗り物で遊べる
 - ・いろんなスポーツ施設がある

新しい公園に必要な空間・仕掛け

- 広々とした広場「寝ころべる芝生」
 - 緑陰のある高木エリア「ツリーハウスのある森」
 - 花壇とハーブ園、市民農園
 - 子どものための遊具
 - ・他の公園にはない特徴のある遊具
 - アクティビティの拠点となるコミュニティスペース
 - ・多目的スペース、更衣室、清潔なトイレ
 - ・様々な遊び道具、器具、設備をその場で出し入れ出来る倉庫
 - イベントやBBQを支えるインフラとしての設備
 - ・水道、排水設備、電気・照明、ゴミ処理、キッチン
 - 駐車場
- 他にもこんな空間・仕掛けがあるといい・・・
- ・大人のための健康器具
 - ・ジョギング、ウォーキングコース
 - ・野外のステージ、舞台
 - ・音楽の練習が出来るスペース
 - ・フットサルコート、スケボー＆BMXエリア
 - ・雨宿りスペース（例えば大きな軒先）
 - ・津波避難スペース 兼 展望台

新しい公園をどうやってつくるか

【整備の考え方】

- 自由な使い方ができる芝生をメインにした公園
 - ・芝生の中で、様々なアクティビティを展開
例：BBQ、ドッグラン、プレイパーク など
 - ・ニーズに応じて新たな機能の整備・導入を検討
- 季節や時間帯、利用者のニーズに応じた柔軟な運用
 - ・ゾーニングを明確にしない多様なシーン創出の仕掛け

【運営・管理の考え方】

- “公園協議会”による指定管理
 - ・隣接施設の民間事業者と市民が“公園協議会”を設立、自主ルールによる管理・運営を実施
 - ・指定管理者として、芝生等での様々なアクティビティを企画・誘致
 - ・アクティビティの利用料金の一部を、維持管理費用へ充当
- 自主運営を支援する“パークセイバー”を市民等から認定し活動を促進

【実現に向けた考え方】

- 周辺地域への影響に配慮する
 - ・公園の周辺を木々で囲い、空間的に遮る
- ルールを作らなくても良い環境をつくる
 - ・清潔で手入れが行き届いている雰囲気を持続する
 - ・上手く活用している姿を示し理解を広げる
- 責任をもって管理する人を配置する